

社会保障充実と言っても 財源はあるの？

消費税増税しても社会保障費は増えない？

北医療生協では社会保障の充実を求め2つの署名にとりこんでいます。
1つは国に対してもう1つは市に対して社会保障の充実を求める署名です。
消費税が5%→8%となって増えた財源は8.2兆円にもなります。しかし、実際に社会保障費の充実にあてられたのは1.35兆円でしかありません。(2016年度予算による)
国は社会保障費の自然増分※も増加させない予算立てを行っています。
国民健康保険料についてはこれまでも、名古屋市などは保険料を引き下げのために一般会計から独自繰入を行い減免制度を条例で定めてきました。
今年度から財政運営が県単位化とされ各市町村に割り当てられることとなった事業納付金は、(保険料を統一した場合)国の交付金や一般会計からの独自繰入をあてることはできません。これでは、保険料の引き下げを継続させることが難しくなっていきます。そのため、現行の制度を維持し、一般会計からの独自繰入を継続、充足することが求められます。

私たちの医療・介護・子育てや年金といった暮らしに関わる制度の充実には社会保障費の増額が不可欠です。そのためにも、署名を集めて、私たちの声をとどけていきましょう。

※社会保障費の自然増：高齢化に伴い年金や介護サービスを受給する人が増え、国庫負担の割合が増加することをいう。

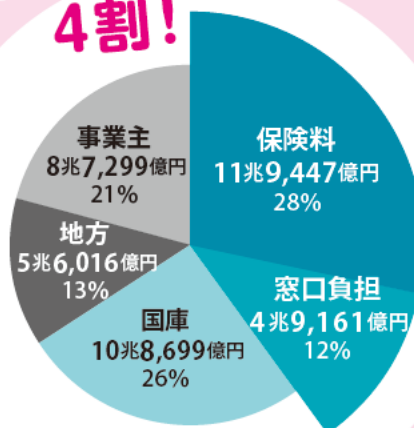


国保と高齢者医療、介護保険の 改善を求める署名

(名古屋市の国保と介護をよくする会)

国の責任で社会保障制度の拡充を求める署名

国民の医療費負担は
4割!

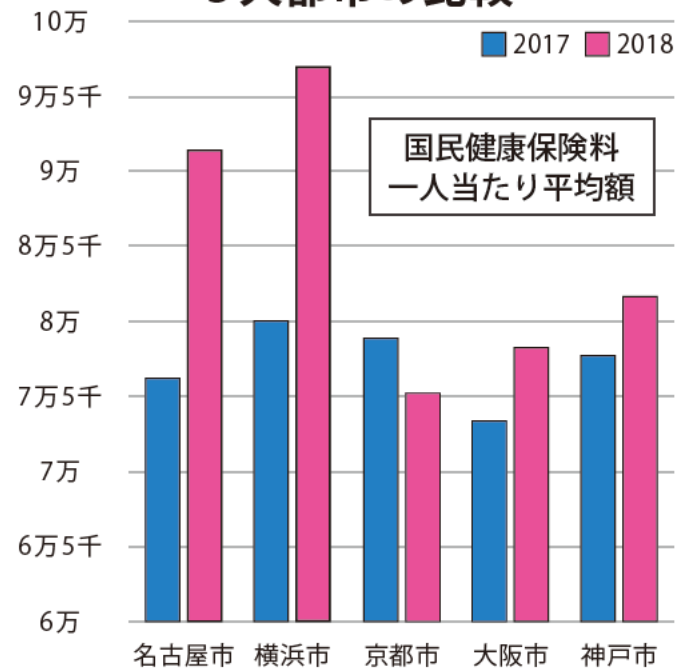


2015年度 財源別国民医療費



(中央社保協)

5大都市の比較



国民健康保険料
一人当たり平均額